

令和5年度
自己評価報告書
(評価編)

評価対象期間 自：令和5年4月1日
至：令和6年3月31日

評価基準日 令和6年5月1日

令和6年5月

学校法人高橋学園

専門学校東京CPA会計学院熊本校

目 次

教育重点項目(1) 「東京CPA会計学院の更なる発展」の確実な実施

教育重点項目(2) 教育力の向上

第1 教育理念・目的・育成人材像等

第2 学校運営

第3 教育活動

第4 学修成果

第5 学生支援

第6 教育環境

第7 学生の受入れ募集

第8 財務

第9 法令等の遵守

第10 社会貢献・地域貢献

第11 国際交流

教育重点項目1

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
重点1	「東京CPA会計学院熊本校のさらなる発展」の確実な実施	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

教育重点項目2

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
重点2	教育力の向上	4	③	2	1	0

①課題

- ・簿記の習熟度に大きな差があるため、日々の講義等に変苦勞している状況である。
- ・テキストや問題集等の教材の品質向上が、「自ら学び成長する力」をつけるうえで、課題であり、大変重要だと考えている。
- ・最も重視すべき検定である日商簿記1級、全経上級の実績が本校の最優先課題である。

②今後の改善方法

- ・学校として集団形成を心掛け、学生同士が本音を交わし合い、助け合い、励まし合う場面を提供し、学生同士の関係を強化することが、学力向上にとって大変重要であると思われる。
- ・学生一人ひとりの実態に応じたきめ細やかな指導を充実させるために、一斉指導に加え、個別指導やグループ別指導等の指導方法を工夫することが求められる。
- ・本学の一つの柱である自学自習をより効果的に進めるうえでも、自学自習用教材の品質向上を図る必要がある。
- ・東京校による支援体制を含め、日々の授業力向上に力を注ぐことが求められる。一方、動機づけについては、機会あるごとに、学生面談による意識向上を図っていく。

③特記事項

コロナ感染拡大の状況下の中、授業時間確保とともに自学自習時間確保に多大な影響が生じた。

第1 教育理念・目的・育成人材像等

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		4	3	2	1	0
01	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	③	2	1	0
02	学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1	0
03	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1	0
04	学校の理念・目的・育成人材・特色・将来構想などが 学生・保護者等に周知されているか	4	③	2	1	0
05	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する 業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	③	2	1	0

①課題

- 1: 学校の向かうべき方向性を含め、教育理念・目的・育成人材像について全職員が共通理解を持ち、学校としての一体感が図れるような工夫とともにその取り組みが必要不可欠である。
- 5: 専門分野への特化が当校の特徴であり、卒業生も各界から高い評価を受けてはいるものの、情報処理や英語などの分野に対応した教育は不十分である。

②今後の改善方法

- 1: 学校の向かうべき方向性等について、職員で共有する時間を設けるべきである。
- 5: 経理本科の学習を、更に充実し実践的なものに絞ると評価も高まると思われる。しかしながら制約された時間の中で、どの分野を優先すべきか常に検証し、履修すべき科目を絞り込むべきである。

③特記事項

第2 学校運営

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
06	目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1	0
07	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1	0
08	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	④	3	2	1	0
09	人事、給与に関する規定等は整備されているか	④	3	2	1	0
10	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1	0
11	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1	0
12	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1	0
13	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1	0

①課題

- 11：コンプライアンス違反は決してあってはならないものであり、信頼を損なうようなことは厳に慎み教師としての使命感や責任感を十分認識する組織を構築すべきである。
- 13：働き方改革や教育活動の効率化のうで、熊本校独自に、学生に関する情報や共有事項を一元管理できる業務システムの導入が必要と思われる。

②今後の改善方法

- 11：コンプライアンスの重要性は認識しており、体制の強化及び組織の対応策を考えていきたい。また、コンプライアンス違反をなくすためには、日頃から職員間のチームワーク力やモチベーション向上などの雰囲気づくりを醸成することが大切である。
- 13：学生と向き合う時間確保のためにも、教育活動の効率化は必要である。先進校視察を含め、導入に向けて課題を洗い出したい。

③特記事項

第3 教育活動

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
14	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1	0
15	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1	0
16	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1	0
17	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1	0
18	関連分野の企業・関係施設等や業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行なわれているか	4	③	2	1	0
19	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	③	2	1	0
20	授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1	0
21	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1	0
22	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	③	2	1	0
23	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1	0
24	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1	0
25	関連分野における業界との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行なわれているか	4	③	2	1	0
26	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組みが行なわれているか	4	③	2	1	0
27	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1	0

①課題

26、27：現在、教員の指導力や専門性向上については、教員自身の自主的な努力に委ねられている。確かに、自主的な研修も尊重しなければならないが、同時に、必要に応じた職務研修（命令研修）も求められている。しかしながら、学生対応が優先され実際にはそのような職務研修を実施することは困難な状況にある。また、社会的マナーを含む研修が不足している。

②今後の改善方法

24：教員数を増やし、研修への参加・実施する時間を確保できる状況を生み出すようにしなければならない。

26：教師という職業は、人を育て、人の魂を育む極めて重要な意味を持っている。教師の言動が学生の行動や心情に深く影響を与えることを常に自覚しなければならない。
（教職員の意識改革の必要性）

27：教職員は、絶えず、自己の使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならないと考えている。（教職員研修の機会確保）

③特記事項

これまで、コロナ感染拡大防止の観点から、著しく制限されていたので、今後は、積極的に研修に力を注いでいきたい。

第4 学修成果

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
28	就職率の向上が図られているか	④	3	2	1	0
29	資格取得率の向上が図られているか	4	③	2	1	0
30	退学率の低減が図られているか	4	③	2	1	0
31	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1	0
32	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1	0

①課題

- 29、30：潜在的な職員不足等が、資格取得率や退学率等に少なからず影響を与えていると考えられる。
- 31、32：卒業後の転職状況・離職状況、また、検定試験等の取得状況などの情報がつかめていない。現状では、卒業生からの口伝で知るほかない状況である。

②今後の改善方法

- 29、30：優秀な人材確保が求められており、常にアンテナをはり情報収集に努める。どんなに時代が変わり技術が発達しても、学生を豊かに育て能力を引き出す責任は教師という人間に帰属する。これこそが「教育は人なり」である。これらを踏まえた上での職員の適切な配置と支援体制の構築を行っていきたい。
- 31、32：卒業生の状況についてどのように把握していくべきか、より体系的な調査方法を検討すべきである。

③特記事項

第5 学生支援

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
33	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	③	2	1	0
34	学生相談に関する体制は整備されているか	4	③	2	1	0
35	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1	0
36	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1	0
37	課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1	0
38	学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1	0
39	保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1	0
40	卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1	0
41	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1	0
42	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行なわれているか	4	③	2	1	0
43	関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行われているか	4	3	2	1	①

①課題

34：近年、学生の状況に応じたきめ細かい学習支援や生徒指導上の課題への対応など、学校が向き合う課題は複雑化・多様化している。現在の支援体制では足りないのではないか。

②今後の改善方法

34：多様化している学生にどう向き合うべきか、必要に応じてスクールカウンセラーとの連携など積極的に考え支援体制を強化していきたい。

③特記事項

第6 教育環境

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		4	3	2	1	0
44	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2	1	0
45	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1	①
46	防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

第7 学生の受入れ募集

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
47	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	④	3	2	1	0
48	学生募集活動は、適正に行われているか	4	③	2	1	0
49	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	④	3	2	1	0
50	学生納付金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1	0

①課題

48：現時点で適正に学生募集は行えていると思うが、志願者数が定員を下回っている状態が続いている。

②今後の改善方法

48：まずは、教員の確保が優先である。今後、必要に応じて営業人員を増やし、更なる本校の知名度向上を図ることが必要だと考える。

③特記事項

第8 財務

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
51	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1	0
52	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1	0
53	財務について会計監査が適正におこなわれているか	④	3	2	1	0
54	財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1	0

①課題

51：入学者数を考慮すると、中長期的に安定しているとは言えないと感じる。

②今後の改善方法

51：少なくとも、入学者数が定員を下回ることは避けなければならない。加えて、入学者数の推移を分析・検証し、学生確保に向けて、改善策を具体的に講じなければならない。

③特記事項

第9 法令等の遵守

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
55	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1	0
56	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1	0
57	自己評価の実施と問題点の改善を行なっているか	4	③	2	1	0
58	自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

第 10 社会貢献・地域貢献

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		4	3	2	1	0
59	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	③	2	1	0
60	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1	0
61	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

第 1 1 国際交流

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
62	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	③	2	1	0
63	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	③	2	1	0
64	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整理されているか	4	③	2	1	0
65	学習成果が国内外で評価される取組を行なっているか	4	3	2	1	①

①課題

62、63：TSMCの操業開始とともに、留学生の希望も増えてくることが想定される。受け入れについては避けては通れない課題である。

②今後の改善方法

62、63：今後、留学生の受け入れ等について適切な手続き等準備を進めておく必要がある。

③特記事項

以上